

参加者紹介

(有) 安彦園芸

山形でエネルギー削減のバラ栽培に取り組む!

今月は山形県鮭川村の安彦健一さんのレポートです!

(有)安彦園芸がMPSに参加するきっかけとなったのは、バラ栽培のアーチング研究会の会議でのMPSジャパン松島社長の講演でした。

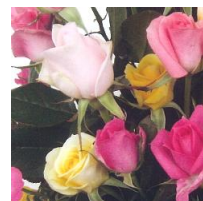
この講演で、MPSについて知ることとなり、農薬や肥料を使うバラ栽培の上で、これからは地球環境に対する配慮と、それを消費者に対してアピールしていく事は、欠かせないものになっていくと思いました。

また丁度ニュースで、野菜の残留農薬などが話題になっていた時期でもあり、これは必ず、花栽培に関しても、農薬に対する見方が厳しくなってくるものと感じました。



安彦園芸の皆さん

せっかく始めるならば、一番に始めようと思い、平成19年の1月から、登録を開始しました。また、市場が積極的にMPS参加を勧めていたことも開始の大きな要因となりました。



MPSを始める前は、農薬の購入量を記載していたのですが、MPSでは使用量を登録するので、最初は戸惑いました。しかし、そのつど記載するので、使用した日にちが判るようになり、農薬の使用量が節約できているように思います。

また、肥料に関しては単肥を混合し必要量だけ与えるやり方なので、使用量は最小限に抑えることができていると思います。



ヒートポンプを導入し、石油高騰に対応

安彦園芸は山形県でバラ生産を行っていますので、エネルギーに関しては、重油の高騰もあり、ヒートポンプエアコンを全面積に導入しました。エネルギーを油から電気に移行することにより、CO₂削減にも貢献しています。

ぜひこれからは、次世代のために、地球環境を考えたながらバラ生産に励んで行きたいと思っています。



今後ABC認証を受け、生産者から市場そして一般消費者に、環境負荷低減に配慮して生産されたバラであることを、どんどんアピールしながら、有利販売につなげて行きたいと考えています。